

霞クラブ加盟各社 御中
日本新聞協会 御中
東京写真記者協会 御中
テレビ・ニュース映画協会 御中
日本雑誌協会 御中

イラクにおける取材活動について

平成29年7月5日
外務省 外務報道官
領事局長
中東アフリカ局長

1 6月22日、イラクのアバーディー首相は、ISIL（イラク・レバントのイスラム国）が占拠しているニナワ県モースルの解放作戦が近く完了する見通しである旨発言しています。しかしながら、依然としてモースルでは激しい戦闘が継続している上、仮に同作戦が完了したとしても、イラク全土からISILが一掃されるわけではありません。各地には依然としてISIL残党が潜伏し、機会を捉えてテロを実行する懸念があるなど、イラクの治安情勢は引き続き流動的です。現在戦闘やテロが発生していない地域でも情勢が急速に悪化する可能性は排除されません。

2 イラクに対しては、クルディスタン地域の一部を除き、「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」及び「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」との危険情報を発出しています。現在のイラクの治安状況を踏まえると、貴社・協会関係の日本人報道関係者が、戦闘が行われている地域はもとより、退避勧告地域及び渡航中止勧告地域へ渡航することは、いかなる理由によるものであれ見合わせていただくよう強くお願いします。万一、現時点でこのような地域に滞在されている貴社・協会関係者がいる場合には、イラク出国までの期間の緊急連絡先（氏名、連絡先、予定滞在日程）を在イラク日本国大使館（衛星電話：+964-(0)77-0494-2018, E-mail: embjp.ryoji.iraq@bd.mofa.go.jp）又は在エルビル領事事務所（+964-(0)66-210-5555）まで至急連絡の上、可能な限り早急な退避をお願いします。

また、貴社・協会が契約しているフリージャーナリストに対しても同様に、渡航・滞在を控えるよう注意喚起を行っていただくよう強くお願いします。

(了)